

鵬

高

同窓会報 2019

岩手県立盛岡第三高等学校同窓会事務局
〒020-0114 岩手県盛岡市高松四丁目17-16
TEL 019-661-1735 FAX 019-661-1221

●発行 令和元年9月13日



体育祭



部活動



文化祭



岩手県立盛岡第三高等学校

鵬同窓会総会懇親会

令和元年 **10月26日** (土)

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

総会 17:30 懇親会 18:30

会費 4,000円 (学生2,000円)

〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL 019-625-1211

当日、受付で申し受けます。

- 参加申し込みは **10月16日(水)** までをお願いします。
- 懇親会は、クラス会や部活動のOB会としてもご利用下さい。お友達同士、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。
- 総会、懇親会の参加申し込みはQRコードまたは、メールアドレス ootorisoukai2019@gmail.com よりメールにてお願いいたします。本文にご氏名(〇〇回生)と「総会のみ参加、懇親会のみ参加、総会懇親会参加」のいずれか一つをご記入下さい。



いよいよ来年は、2020東京オリンピック、東京パラリンピックが開催される。三高は、前回の東京オリンピックの前年、1963年に誕生した。第2次世界大戦後のベビーブームに対応する高校生急増対策の一環としての新設であった。今年亡くなられた小説家・評論家である堺屋太一氏が名付けたと言われる「団塊の世代」（昭和22～24年生まれ）として、以降いろいろな場面で注目を浴びることになる。

私が入学したのは、オリンピックの年でした。マラソンの円谷選手、東洋の魔女と言われた女子バレーボールなど、テレビを通して見るのが出来たが、白黒の世界であった。今回は、テレビのみならず、多くの人が直接観戦することが出来る。オリンピックとの関りで言えば、校庭にオリンピックの五つの輪と校章を人文字で描き、上空からセスナ機で撮影し、その写真を記念に購入したことが思い出される。今であれば、ドローンで簡単に出来るであろう。また、今回の聖火ランナーは、スポンサー企業のほか、都道府県が募集するランナーに、希望する人が応募できるということである。前は、スポーツに携わっている人に限られていたようであった。その意味では、国籍や障がいの状況などの制約もない公平なやり方である。

もう一つは、2020年に予定されていた1学級減が延



同窓会長

泉山良男

2020を 巡る想い

期されたことである。県教育委員会の高校再編計画では、中学校卒業予定者が減少する見通しから、高校の統合や学級減が計画されていた。三高も現在40名定員の7学級が6学級に減少する予定であった。志願者が多く、志願倍率も県内でトップクラスの高さなどが考慮されたようで、ひとまず安心ということであるが、県内の人口減少は避けることが出来ない。ちなみに、第一回の卒業生は346名である。人口が増加の時代は施設が足りなくて困った。今は、立派な施設が十分あるのだから、希望する子供達の夢を叶える工夫が出来ないものかと、団塊の世代の一人として振り返って思う。



校長

中島 新

半世紀前のアク ティブ・ラーナー

同窓会の皆様には、日頃から母校の教育活動にご支援、ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、来年度から予定されていた本校の1学級減が見送りとなるのが、過日、発表されました。ただ、現行の1学年7クラス体制がいつまで維持できるのかといったような点については明らかにされてはいませんが、県規模での統合や学級減等が待たなして進められている現状を鑑みれば、決して手放して喜ぶこともできません。そう言うものの、見送りの理由として、中学生からの人気などが挙げられていた点に関しては、卒業生の皆様をはじめ、生徒、教職員の努力の一つの成果と受け止めることもでき、そうした意味では、大変喜ばしいことだと感じました。

『三高二十年誌』（昭和57年9月25日発行）の中で、阿部寿一初代校長が「草創期のこと」と題して寄稿していますが、そこで興味深い話がありましたので、抜粋してご紹介します。

「三高が新設され一年経過した昭和39年2月の岩手日報の声欄に、この年の4月に開設される新設高校の

名称について、第三とか第四とかの数字を冠することは、印象が学校の格差を感じさせるから、盛岡三高を北高、四高を南高と命名してはどうかという投書があった。この投書に対し、三高の一生徒は、声欄に次の様に主張している——最初は、三高というのは、序列をつけられたようで校名を嫌っていた。しかし、今では、むしろ他校との遅れを取り戻す為に頑張っている。四高の校名が何とつけられようとも、三高は、南北の字を今さら付けられては困る。（中略）私たちは、三高なるが故に他校に対し競争意識を燃やし、勉強に、運動に一生懸命で、こうして三高の歴史を一步一步つくりつつ前進している。個々が真の力を身に付けて、学校の名を重からしめようと努力している——こうした草創期の生徒の気概が脈々として学校の全領域に流れ、着実な歩みを重ね、今日の押しも押されぬ立派な学校が出来たのであろう。」

近年、日本では、アクティブ・ラーニング（能動的学修）を推進し、物事をうのみにすることなく、自ら課題を見つけ、自ら学ぼうとするアクティブ・ラーナーを育成しようとしています。本校が行っているサイエンス・リサーチ・ハイスクール（SRH）の取組も、「参加型授業」という学習・指導方法も、いわばこのアクティブ・ラーナーの育成を目指したものと言えますが、この話に登場する「三高の一生徒」の、もの見方や行動からは、アクティブ・ラーナーの資質を立派に有していることがわかります。

今年、本校は創立から56年になりますが、このようなアクティブ・ラーナーの育成はもちろん、「三高の一生徒」のような、時代に左右されることのない「随処為主」の実践者や成長型マインドセットの持ち主を、これからも育成していきたいものだと考えています。

「自分の気持ちに正直に生きる」

吉田 香世子 (32回生)

ラオスの首都、ビエンチャンに移り住んで九年が過ぎた。留学していた二年間を含めると、実家以外で一番長く暮らした場所がラオスということになる。十五年前、電気も水道もない農村で人々の親切と善意に支えられながら調査を行っていた私は、現在、ここで働き我が身と家族を養っている。

限られた期間に語学を習得し、異文化を理解しようと必死だった学生時代と違い、仕事と子育てに追われる身にとっての「異文化」は、さほど驚きも感慨ももたらさず、ありふれた日常となって久しい。反面、この地における私はあくまでよそ者であり、そのことに甘んじている自分を強く意識する。

家族や血縁の絆を重視し、協調と相互扶助を尊ぶラオス社会にあって、濃厚なしがらみや関係性はときに煩わしく負担に感じるものとなる。親類同士、頻繁に訪ねあい、寄り集まっては長々と世間話に興じ、気軽に寝泊まりもすれば、いつの間にか長逗留に及ぶこともある。もめ事が起きれば一族総出で調停に乗り出し、病気や事故となれば係累がどっと見舞いに押し寄せる。精神的・経済的な支えあいを当然のこととしてやってのける彼らを私は尊敬するとともに、とても同じようには振舞えないと思う。ラオス人の妻にして嫁と呼ばれる立場の私だが、よそ者特権をいいことに親類とのつきあいはつかず離れずを決め込んでいる。何でも見てやろう知ってやろうと力んでいた一昔前とは大違いである。立場が変われば考え方も変わるのか、我ながら苦笑せざるを得ない変わり様だが、しかし、そうすることで内面のバランスが保たれているのだから仕方がない。思えば、昔からずっと「みんなと一緒に」であることに苦手意識を抱いてきたのだ。

小学校の時分に気づいた違和感を押し殺すようにしてやり過ごした中学校時代を経て、盛岡第三高校に進学した理由の一つには、その自由な校風への憧れがあった。実家から距離があったためか、その年に同じ中学から同校に進んだ生徒は皆無と記憶している。入学早々、担任に言われて強く印象に残った言葉は「ここは通過点に過ぎない」というものである。いわく、「ここには生徒一人一人がそれぞれ違う将来の目標をもって入学している。それを実現させるために学校は全力で支える用意がある」。私の記憶違いがあるかもしれないが、おおよそそのようなニュアンスであったと思う。担任の主旨は別のところにあったのだろうが、私にとっては、それまで「同じであること」への圧力を感じるが多かった学校という空間で、「違うこと」をよしとする空気は非常に心地よいものだった。実際、校内の規律も強制ではなく生徒の自主性に任されていた。



た。スカートが長かろうが短かろうが、髪を染めようと化粧をしようとピアスを開けようと、周囲がとやかくいうことはなかった。個人の自立と自由を尊ぶ気風の根底には、生徒各人の自主独立の精神、そして先生方の生徒への信頼があったのだと思う。そして「通過点に過ぎない」という言葉は、その後の人生においても私の支えとなってきた。苦しいときやつらいとき、必要以上に思い悩む必要はない。いずれも人生の通過点に過ぎないのだから。

ともかくも、他人と違うことに妙な自信をつけた私は、大学、大学院とその傾向を助長させていく。大学院ともなれば、まさしく独創性こそが研究の要と知り、自らの発想力の乏しさに落ち込むことになるのだが。異文化研究は、一方では自らが属する文化を相対化し、再発見する営為といえる。異なる社会に生きる人々の営みが、自らが知らず内面化している規範や価値観に気づかせてくれることを私は学んだ。そして、様々な試行錯誤と紆余曲折を経て、いつの間にか「当たり前」を疑うこと、差異を前提として人とつきあうこと、なるべく自分の気持ちに正直に生きることを心がけるようになった。結局のところ、自分の人生は自分だけのものであり、他者があれこれ口出ししたところで彼らは私の人生に責任を負ってはくれないのだ。

とはいえ、自分の現状は「随処為主」の境涯には程遠い。国際結婚で外国暮らしであればこそ、違って当然と周囲が納得してみせる、そうした環境のなかで粹がっているに過ぎないことを自覚している。私の振る舞いを許容してくれる家族の理解も大きい。つまり私はいまでも人々の親切と善意に支えられながら生きている。私は私なりのやり方で彼らの厚意に応え、恩を返していくほかない。私とラオス社会のかかわりは、いまだ先の読めない可能性に満ちており、私と日本とのかかわりもまたしかりである。

2019

部活動 報告

令和元年度 (7月20日現在)

<運動部>

陸上競技部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

1500m 第8位 高橋理久
5000m 第4位 阿部佑真
(東北大会出場)
3000m S C 第3位 高橋理久
(東北大会出場)

▼女子

200m 第8位 原田未玖
800m 第8位 似内理紗
2000m S C 第7位 阿部優心
5000m W 第2位 田村花のん
(東北大会出場)

走高跳 第5位 北田万智
第5位 佐々木莉生
(東北大会出場)

第6位 栃内清花
(東北大会出場)
4×100m 第5位 春日美月・岩淵里菜
栃内清花・畠山瑠莉
(東北大会出場)

●令和元年度東北高等学校選手権大会

▼男子

5000m 第25位 阿部佑真
3000m S C 第12位 高橋理久

▼女子

5000m W 出場 田村花のん
走高跳 第4位 佐々木莉生
(インターハイ出場)

第9位 栃内清花
4×100m 予選5着 春日美月・原田未玖
岩淵里菜・畠山瑠莉

●2019春季陸上競技会

▼男子

1500m 第7位 高橋理久
3000m S C 第4位 高橋理久

▼女子

5000m W 第2位 田村花のん
第5位 北田万智
走高跳 第3位 栃内清花
4×100m 第5位 春日美月・岩淵里菜
原田未玖・栃内清花

新体操部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

団体 優勝

(田井萌香・澤口真由・藤田麻穂・村松遥・
照井若菜・川向杏里)
(インターハイ・東北大会出場)

個人 優勝 村松 遥

(インターハイ・東北大会出場)
2位 田井萌香 (東北大会出場)
4位 澤口真由
6位 照井若菜

●令和元年度東北高等学校選手権大会

団体 5位

(田井萌香・澤口真由・村松遥・照井若菜・
川向杏里・藤田麻穂)

個人 村松 遥 総合13位
種目別クラブ 6位
田井萌香 総合14位

バレーボール部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

3位(東北大会出場)※優秀選手 柏田蓮星
代表決定戦 盛三 2-0 一関修紅

▼女子

3回戦進出 ※ベスト16
令和元年度東北高等学校選手権大会

●令和元年度東北高等学校選手権大会

▼男子

1回戦 盛三 2-0 福島商業
2回戦 盛三 1-2 仙台商業

●第31回ビーチバレーボール岩手県大会

▼男子

宮原峻平/伊五澤音碧 優勝
全日本ビーチバレーボールジュニア
男子選手権大会出場

バスケットボール部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子 3回戦進出

▼女子 3回戦進出

卓球部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

団体 3回戦進出 ※ベスト16
ダブルス
3回戦 鈴木・川田 0-3 専北
※ベスト16
1回戦 及川・田村 1-3 専北
1回戦 佐藤・新沼 1-3 福工
シングルス 鈴木雄大 14位
(東北大会出場)

▼女子

団体 2回戦進出

●令和元年度東北高等学校選手権大会

▼男子

シングルス 鈴木雄大 2回戦進出

バドミントン部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

団体 準々決勝進出 ※ベスト8
ダブルス
1回戦 森田・齋藤 0-2 前沢
シングルス
1回戦 森田 0-2 花北青雲

▼女子

団体 1回戦敗退

ダブルス
1回戦 芳本・佐々木 2-0 久慈
2回戦 芳本・佐々木 0-2 北上翔南

弓道部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

団体 準決勝進出 ※ベスト8 (6位相当)

▼女子

団体 準決勝進出 ※ベスト8 (7位相当)
個人 石川春奈 予選8射3中 予選敗退

●第61回岩手県弓道選手権大会

第1部 第4位 高橋 新
第2部 第2位 帷子晴美

空手道

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼女子

団体 組手 3位
(松林礼渚奈・乙部真優子・熊谷菜々美)
個人 形 準優勝 乙部真優子
(インターハイ・東北大会出場)

5位 本田純美 (東北大会出場)
組手 5位 乙部真優子
(東北大会出場)

●令和元年度東北高等学校選手権大会

▼女子

個人形 乙部真優子 ※ベスト16
本田純美 1回戦敗退
個人組手 乙部真優子 1回戦敗退

剣道部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

個人戦
1回戦敗退
須藤悠介・宇美颯人・飯塚 進・菊池慧哉
2回戦敗退
大澤遥人・田村魁士・遠藤滯叶
4回戦敗退 高橋昂河 ※ベスト32
団体戦 予選リーグ敗退 (0勝2敗)

▼女子

個人戦

1回戦敗退 藤村日南花・長岩希子、
金田一蘭奈

3回戦進出 村松芽依

4回戦進出 照井慈織 ※ベスト32
団体戦 予選リーグ敗退 (0勝1敗)

水泳部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

100m背泳ぎ 2位 勝山大暉
200m背泳ぎ 2位 勝山大暉
400mフリーリレー 7位
勝山大暉・小笠原樹・福岡智仁・吉濱岳

▼女子

50m自由形 5位 熊谷菜那
100m自由形 5位 熊谷菜那
100m平泳ぎ 1位 東條真奈
200m平泳ぎ 1位 東條真奈
100mバタフライ 6位 佐藤りん
200mバタフライ 7位 佐藤りん
200m背泳ぎ 8位 三尾夏奈子
400m個人メドレー 6位 三尾夏奈子
400mフリーリレー 6位
熊谷菜那・佐藤りん・山内梨乃・小川由希
400mメドレーリレー 4位
山内梨乃・東條真奈・佐藤りん・熊谷菜那
総合4位 以上(東北大会出場)

●2019年度岩手県選手権水泳競技大会兼 第74回国民体育大会岩手県代表選手選考会

▼女子

100m平泳ぎ 1位 東條真奈
200m平泳ぎ 3位 東條真奈

サッカー部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

3回戦進出 ※ベスト16

ラグビー部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

1回戦 盛三 80-0 黒沢尻工
敗者戦 盛三 14-21 岩手
A Bブロック入替戦
盛三 10-24 一関一

ハンドボール部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子 1回戦敗退

▼女子 準々決勝進出 (※ベスト8)
※特別敢闘賞 平澤あき

ソフトテニス部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

団体 4回戦進出 ※ベスト8
個人 田中成樹・三上真心 準々決勝進出
※ベスト8 (東北大会出場)

田村駿也・伊藤夕夏 初戦敗退
菊池慎太郎・飛澤宗太 初戦敗退

▼女子

団体 1 回戦敗退
個人 穂元桜菜・佐々木絢音 2 回戦進出
盛内歩佳・上方こもも 3 回戦進出
※ベスト32

恵津森一葉・大久保理子 1 回戦敗退

●令和元年度東北高等学校選手権大会

▼男子

個人 田中成樹・三上真心 初戦敗退
●第29回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップ2019岩手県予選

▼男子

シングルス 伊藤夕夏 準々決勝敗退
※ベスト8

▼女子

シングルス 穂元桜菜 準々決勝敗退
※ベスト8

テニス部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子

団体 2 回戦進出 ※ベスト8
シングルス 1 回戦敗退 高橋大典
ダブルス 高橋大典・熊谷政道 ※ベスト16

▼女子

団体 2 位 (東北大会出場)
シングルス

1 位 高橋優実
(インターハイ・東北大会出場)

3 位 山根里々花 (東北大会出場)
※ベスト16 佐々木恵

1 回戦敗退 島田青依

ダブルス

1 位 高橋優実・山根里々花
(インターハイ・東北大会出場)

※ベスト8 佐々木恵・島田青依

●令和元年度東北高等学校選手権大会

▼女子

団体 盛三 1-2 山形東 1 回戦敗退
シングルス 高橋優実 ※ベスト8
山根里々花 ※ベスト16

ダブルス 高橋優実・山根里々花
※ベスト16

●第40回岩手県ジュニアテニス選手権大会

▼女子 (18歳以下)

シングルス
1 位 高橋優実 (東北大会出場)

3 位 山根里々花 (東北大会出場)

ダブルス 1 位 高橋優実・山根里々花
(東北大会出場)

※ベスト8 佐々木恵・島田青依
※ベスト8 皆川千紘・平沼舞子

ボート部

●第71回岩手県高等学校総合体育大会

▼男子 総合3位

シングルスカル 藤澤武士 敗者復活戦敗退
小林爽人 敗者復活戦敗退

澤瀬 理 敗者復活戦敗退
永島弦人 敗者復活戦敗退

竹田瑛登 棄権
ダブルスカル 本多光志郎・木越健太
敗者復活戦敗退

鈴木雅人・帷子知輝 敗者復活戦敗退

舵手付きクォドルプル 2 位
有馬 葵・村上賢吾・須藤穂高

細越 怜・横田 涼 (東北大会出場)

▼女子 総合2位

シングルスカル 2 位 齊藤愛乃
(東北大会出場)

4 位 白根 咲

ダブルスカル

1 位 八重樫鈴音・五田市愛怜子
(インターハイ・東北大会出場)

3 位 鎌田帆南・小澤幸紀

舵手付きクォドルプル

3 位 齊藤羽那・山生 楓・川村萌花・
櫻田加奈子・岩泉ひかる

●令和元年度東北高等学校選手権大会

▼男子

舵手付きクォドルプル

有馬 葵・村上賢吾・須藤穂高・
細越 怜・横田 涼 敗者復活戦敗退

▼女子

シングルスカル 齊藤愛乃 敗者復活戦敗退
ダブルスカル

八重樫鈴音・五田市愛怜子 2 位

野球部

●第66回春季東北地区高等学校野球岩手県大会盛岡地区予選

(盛岡地区第2代表で県大会進出)

決勝 盛三 1-2 盛附

●第66回春季東北地区高等学校野球岩手県大会1 回戦敗退

<文化部>

吹奏楽部

●第28回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト北東北大会 高校生の部

金賞 小笠原くるみ (東北大会出場)

金賞 佐藤凜々子 (東北大会出場)

平成30年度 全国大会の報告

<運動部>

陸上競技部

●全国高総体

女子
走幅跳 前田 桃華 出場

●国民体育大会
少年女子走幅跳 前田 桃華 第4位

ハンドボール部

●国民体育大会

少年男子
(県選抜正ゴールキーパーとして出場)

工藤 颯馬 第5位

水泳部

●全国高総体

女子
200m平泳ぎ 東條真奈 出場

●国民体育大会
女子
200m平泳ぎ 東條真奈 出場

100m平泳ぎ 36位/53人 東條真奈

スキー部

●第65回全日本高等学校選手権ボート大会

男子
アルペンスラローム 吉田匠吾 出場

アルペンジャイアントスラローム
吉田匠吾 出場

女子
クロスカントリー 5 km クラシカル

森冬姫子 出場
クロスカントリー 5 km フリー

森冬姫子 出場
●国民体育大会

少年男子
アルペンジャイアントスラローム

吉田匠吾 出場
女子

クロスカントリー 5 km クラシカル

森冬姫子 出場
●全国選抜

女子
クロスカントリー スプリント

森冬姫子 出場

文芸部

●第26回都留市ふれあい全国大会高校生・大学生部門

正木ゆう子選 入選 笠井太郎

●第61回啄木祭全国俳句大会高校生の部

馬場吉彦選 特選(地) 及川亜美
白濱一羊選 特選(人) 國崎萌子

五田市明子選 特選(天) 國崎萌子

写真部

●岩手日報社主催

第28回高校生フォトコンテスト
3 席 對馬暉一郎「my brother」

●岩手県高文連写真専門部主催

令和元年度夏季写真コンテスト
入賞 對馬暉一郎・小林愛佳

<委員会>

視聴覚委員会

●第42回岩手県高等学校総合文化祭放送部門兼第66回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会

アナウンス部門 優良賞 高林真佑
朗読部門 優良賞 繁田莉里子

ラジオドキュメント部門
優秀賞『おでっくなんせ。』

(以上 NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場)

テレビドキュメント部門 入選 『DOUBT』

クロスカントリー 5 km クラシカル
森冬姫子 出場

クロスカントリー 女子 10 km フリー
森冬姫子 出場

男子

アルペンスーパージャイアントスラローム
菊池天馬 出場

アルペンジャイアントスラローム
菊池天馬 出場

アルペンスラローム 菊池天馬 出場

<文化部>

科学部

●全国高総体祭

自然科学部門 研究発表化学部門
佐々木暖人、高橋壮、木村峻理、

本田玲奈、佐々木潤 参加

書道部

●国際選抜書展

(書の甲子園)

団体 盛岡第三高校 東北地区優秀賞
個人 山中心菜 優秀賞

文芸部

●全国高総体祭

【文芸部門】 太田彩季 参加
●全国高等学校文芸コンクール

【文芸誌部門】 「黎」第18号 優秀賞
【小説部門】 田鎖寛都 文部科学大臣賞

【最優秀賞】 笠井太郎 優秀賞
【随筆部門】 西山綾乃 優秀賞

柳澤麗奈 入選

●全国高校生短歌大会(短歌甲子園)

団体 盛岡第三高校 準優勝
鈴木 陽 石川啄木賞

●富士正晴全国高等学校文芸誌賞
(文芸誌甲子園)

【文芸誌賞】 「黎」第18号 優秀賞
【全国高校生文学賞】 田鎖寛都 大賞

視聴覚委員会

●全国高総体祭

アナウンス部門 金子奈々花 参加

●NHK杯全国高校放送コンテスト
アナウンス部門 金子奈々花 入選

テレビドキュメント部門
『桜の陰の武士』 出場

母校支援 寄付のお礼

平成25年度より、母校支援のために会員の皆様をお願いしている寄付も6年目となり、今年度も多くの皆様から多大なるご厚情を賜り、誠にありがとうございます。今年度は皆様から頂いた寄付の中から、例年通りSRH事業の国内外への研修の補助へ30万円支援した他、30年近く使い続けたウェイトトレーニングの機材の買い換えに50万円を支援しました。生徒の安全確保に欠かせない機材のメンテナンスですので、母校からも大変感謝されております。ありがとうございました。お陰様で、今年度の高総体では、個人ではボート、水泳、空手道、テニス、陸上競技、団体では新体操がインターハイ出場を決めたのを始め、多くの部活動が県でも上位入賞をしました。また、野球部の夏の大会の快進撃も記憶に新しいところです。そして例年行われている2年理数探究コースの県内外での課題研究発表、科学オリンピックへの挑戦も、お陰様で今年度も行われております。

今後も引き続き、次期周年行事にかかる資金の計画的な積み立てを行いながら、母校生徒の諸活動の充実に向け支援していく所存であります。今後とも本趣旨に対し、何分のご配慮を賜り、会員の皆様のご助力を頂ければ幸いです。

末筆ながら、会員の皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

同窓会会長 泉山 良男

同窓会役員名簿

会 長	泉山	良男	2回生
副 会 長	滝村	民明	1回生
	山内	隆文	5回生
	平井	滋	8回生
	藤原	誠司	13回生
理 事	増澤	ひかり	3回生
	小綿	明	7回生
	藤原	誠徳	9回生
	村田	達彦	13回生
	及川	正樹	15回生
	伊勢	志穂	16回生
	佐藤	直	16回生
	菅	昌明	17回生
	小笠原	啓助	21回生
	袴田	恭司	24回生
	馬場	暁彦	24回生
	深田	真弓	40回生
監 事	横澤	忠	2回生
	藤田	光孝	3回生
顧問	中島	新枝	校長
関東支部会長	工藤	康寛	9回生
事務局長	辺	明進	31回生
事務局長次長	藤澤	仁美	38回生
事務局員	蒲生	秀磨	19回生
	米沢	崇史	33回生
	齊藤	芳朋	35回生
	高橋	麻美子	36回生
	佐々木	一	生 49回生
	佐々木	玄	49回生

事務局より

日頃より、会員の皆様には同窓会活動に対しご理解とご支援を頂きありがとうございます。

日々の母校の活動をなるべく多くの皆様にお届けするべく、今年度も同窓会報を作成し、例年通り株式会社サラトに管理して頂いている住所データにより、13,000人以上の同窓生の皆様に発送しております。本校に転居等の連絡があった場合、サラトに連絡し常に情報を更新しておりますが、転居などにより「宛先不明」で戻ってくる会報もございます。住所の変更などがあった場合は、是非、事務局へご一報下さい。

今年度も、同窓生の皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

住所変更のご連絡方法

住所等の変更があった場合は盛岡三高ホームページのフォームによりご連絡頂くようお願いいたします。

手順 1 ホームページトップから「PTA・同窓会」をクリック

OB会だより

9回生の集い

平成30年8月14日、クィーンズフォンテに於いて盛岡三高9回生同期会を開催致しました。遠くに住んでいてなかなか会えない人も、お盆なら帰省する多いかも…と発起人で検討して決めた日程でしたが、反対にお盆だから参加できないという方々もいらして総勢42名。一番遠くから駆けつけてくれたのはオランダに単身赴任中の方でしたよ。話題は介護や病気、あっちこっちの痛い所などおなじみの健康面の報告会もありながら、2年前に還暦は過ぎたものの、まだまだ現役でお仕事を頑張っている方々が多く、気分は思いつき若返っておりました。「同級生っていいね。また次回の同期会までみんなげんきでね！」と名残惜しく解散となりました。(天沼智子さん)



12回生の集い

平成30年9月22日、ホテルニューカーリーナにて12回生還暦を祝う会が開催されました。恩師である小林喜雄先生、沼倉守先生にご出席いただき59名が集まりました。41年ぶりの再会となった同級生も多く、昔話や近況報告などで盛り上がり、大変楽しい会となりました。今後は、3年ごとに12回生の集いを開催し、古希の祝いに向けて定期的に再開することを決めて散会しました。(堂前義信さん)



関東支部

「盛岡三高鵬同窓会関東支部」を紹介します。

鵬同窓会関東支部は関東在住の有志によって運営されています。1回生(72歳)から、54回生(18歳)まで、世代を越えての気やかな集まりです。

今年で6回目となる「新人歓迎会」を6月16日(日)に開きました。この春、進学や就職、転勤などで関東方面へ来られた方々を迎え、新卒者14名を含む総勢39名のとても楽しいランチ会となりました。

関東支部では、3ヶ月ごとの定例幹事会や、ゴルフや音楽などのさまざまな部会の活動もしています。

毎年恒例の総会・懇親会は2020年2月8日(土)に開催の予定です。ホームページ、Facebook、Twitterなどでもお知らせいたします。関東以外にお住まいの方もぜひ、ご参加下さい。



関東支部新歓 2019.6.16 ホテルグランドパレス・レストラン「カトリア」にて



関東支部総会・懇親会 2019.2.2
東京グリーンパレスにて82名参加。
前統合幕僚長岩崎茂氏(6回生)によるミニ講演会
「東日本大震災の支援活動について」



2018.10.10岩手県人連合会主催
「第20回ゴルフ競技会」にて
鵬ゴルフ部会が優勝!

2019.2.2「関東支部総親会」にてライブ

盛岡三高鵬同窓会関東支部ホームページ
オフィシャルサイト：<http://moriokasankou.com>

盛岡三高
鵬同窓会
関東支部

「鵬同窓会関東支部」へ登録してください。ootorikantou@gmail.comに空メールを送ると確認のメールが届き、イベントなどをお知らせします。
お問合せ：関東支部事務局 山脇浩子(やまわきこうこ15回生) 電話 03-3795-7679
Twitter：鵬同窓会関東支部公式 @ootori_kantou

Facebook：盛岡三高鵬同窓会(非公開グループ)
<https://www.facebook.com/groups/moriokasanko.otori/>